

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 7 No 07

7 2 号

平成11年 7月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

少子化問題を考える

院長

先月予告したように、今回は少子化について考えてみたいと思います。

先日厚生省から合計特殊出生率が発表されたので、改めて関心を持たれた人もいることでしょう。合計特殊出生率とは、いったい何でしょうか。これは、一人の女性が一生に産むこどもの数を示しているのです。単純に考えるとこの数が2.0で、初めて人口が維持されるのです（厳密には2.08といわれています）。ところが我が国の合計特殊出生率は、ずっと減り続け昨年には何と1.38まで低下しているのです。このままの状態が続けば、日本の人口は10年前後でピークとなり、あとは減っていくばかりなのです。

では少子化が、将来的にどんな問題を引き起こすのでしょうか。人口が減少しても、お年寄りの割合は増え続けるのです。若い年齢層がお年寄りを支えるための負担が、どんどん重くなっていくのです。また国を支えるための労働人口が減ってしまい、国力を維持することが難しくなっていきます。他にも直接子供たちに対する影響が懸念されます。地域によっては同じ年代のこどもがいなくなることが起こりうることです。こどもは子供たち同士の中や遊びを通して、様々なことを学んでいくのです。子供たち同士の関係の希薄化が、子供たちの性格や精神状態に悪影響を与えることも指摘されています。今やこれからの子供たちに対する、大きな負担や影響が心配されるのです。

どうして、こどもが増えなくなってしまったのでしょうか。原因は、結婚しなくなったことと、結婚してもこどもを産まなくなったことです。

では、なぜ結婚しなくなったのでしょうか。これには様々な理由が、言われています。必要を感じない。自分の自由を失いたくない。仕事が生き甲斐になっている。つまり自分の現在の生活や時間の使い方に満足しているということになります。また結婚しなくて済むような便利な世の中

中になったことも関係しているでしょう。また女性から見て、男性が頼りにならないということもあるかも知れません。なるほどと頷いてしまうのは、小生だけではないと思います。

なぜこどもを産まなくなったのでしょうか。これにも様々な理由が、言われています。お金がかかる。育児が大変。夫婦二人の楽しみを壊したくない。仕事がこどもよりも優先される。これには結婚しない理由と同じこと以外に、経済的問題と育児に伴う肉体的・精神的負担が理由としてあげられています。

では少子化を食い止める方法はあるのでしょうか。結婚しなくなったことに対する対策というのは、なかなか難しいようです。自治体によって対策を立てているところもあるようですが、効果は上がっていないようです。自立できない男に対する不満もあるのでしょうか。せいぜい小生の立場として言えることは、“男よしっかりしろよ！”程度しかないのであれば、こどもを産まないということに対する対策は、どうでしょう。厚生省も“エンゼルプラン”として、より安心して子育てができる環境作りに取り組んでいます。もちろん自治体として独自に対応しているところもありますが、両者ともなかなか効果は上がっていないようです。

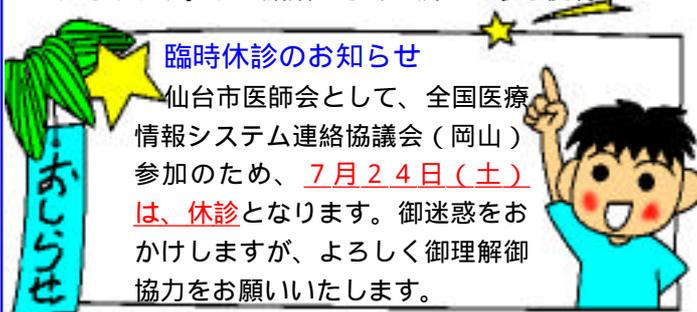
さて我々に、何かできることはあるのでしょうか。当院もCLINIC NEWS・ホームページ・お母さんクラブ、もちろん診察でも「お母さんの心配・不安の解消」を開業理念として、育児支援をしています。乳幼児医療費の助成やこども病院の設立にも協力してきました。しかし、これらはほんの小さなことなのです。実際に現実的な問題である金銭的なことや育児環境の整備は、行政に任せるしかありません。なにより大事なことは、「子どもっていいな・可愛いな」と感じることでないでしょうか。これは個人だけでなく、社会全体で感じて欲しいことなのです。初めての育児では、こう感じることは少ないかもしれませんが。子育ては、「つらいもの・苦しいもの」と思っているお母さんも多いはず。2人3人と育てたお母さんたちは、「子どもっていいな・可愛いな」と思っているでしょう。初めての育児で悩んでいる人、その楽しみを教えてあげてください。こどものいない人には、こどもの可愛さを教えてあげてください。

少子化は、大変な未来なのです。その未来を変えるため何か少しでもできることが、あるかもしれません。今そんな積み重ねが、必要な時期ではないでしょうか。みんなで何ができるかを、この機会に考えてみてください。



臨時休診のお知らせ

仙台市医師会として、全国医療情報システム連絡協議会（岡山）参加のため、**7月24日（土）**は、**休診**となります。御迷惑をおかけしますが、よろしく御理解御協力をお願いいたします。



読者の広場

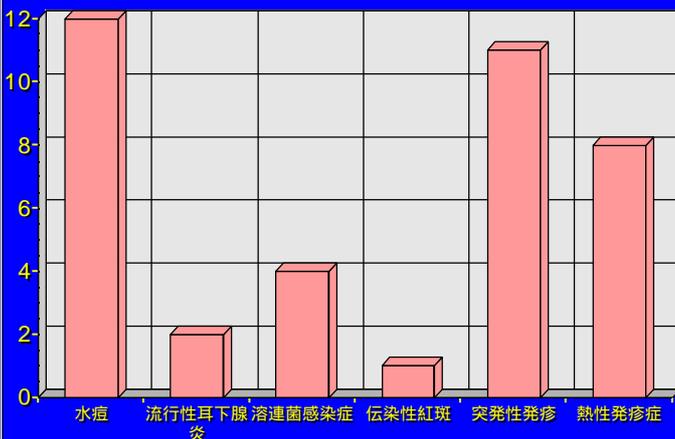
今月は久しぶりに、投書が無かったので、患者さんからのインターネットでの医療相談を紹介します。青葉区のM.Hさんから、海外旅行に対する相談です。「いつもお世話になっております。A.Hの母です。おかげさまで突発の湿疹は引き、機嫌が悪いのも治りました。ところで、今週の木曜日からグアムへ行って来ます。飛行機の中で泣かれることが一番の心配事となっています。QアンドAコーナーで海外旅行のところを見ました。先生は「睡眠薬や鎮静剤」を「敢えて用意する必要はない」というようなことをおっしゃっていましたが、こちらが希望すれば処方していただける物なのでしょうか？。鎮静剤や睡眠薬は立派な薬ですから副作用など、子どもにとってよくないこともあると思います。その辺りのことを教えていただきたくメールしました。親のかってで連れていくのだからAに負担をかけさせたくないのも事実です。デメリットの方が大きいのであれば使わないつもりでいます。Aは普段抱っこではねてくれません。眠くてぐずり泣いていても抱っこでは滅多に眠ってくれません。それどころか叫び声のような大泣きになります。眠くなるとベッドに連れていき寝かせて、タオルケットをかけ、私たちが部屋から出ていくと寝ます。目と目が合うと「あーうー」と話しかけ起きてしまうのです。ふだんの生活ではすっごくらくをしています。外では滅多に眠ってくれないので今回とっても心配しています。お忙しいとは思いますがよろしく願います。」。返事が遅れてしまい間に合わなかったのですが、次のように送りました。「御返事します。実際当院ではこのような種類の薬は置いていません。このような薬は、自分のために使うもので、他人のために使うものではないと思います。こどもが騒いでも、ほとんどの人は許してくれます。騒ぎ疲れば、寝てしまうのがこどもです。ですから放っておいていいでしょう。このメール読んでいて、ふと気がつきました。もう出かけてしまったのでしょうか。多分何事もなく、戻ってこられたと思います。ごめんなさい。」。でもありがたいことにまた返事いただきました。「お返事ありがとうございました。結局、腹をくくって行って来ました。空港で思いっきり遊ばせたせいか飛行機の中ではご飯を食べておもちゃで遊んだらぐっとう寝してしまいました。抱っこで寝てくれるなんて半年以上ぶりに驚きました。それと同時に「なんて親孝行な娘・・・」と思ったのも事実です。と、いうわけで、行き帰りともに泣くこともなく過ごせました。それでは、お忙しい中お返事いただき本当にありがとうございました。今後ともよろしく願います。」。旅行中問題なく、安心しました。当院ではこんなこともやっているの、お気軽に御利用ください。



『お母さんクラブ』のお知らせ

第2回の「夏になると心配なこどもの病気や過ごし方」には、16人のお母さん方が集まり、夏に流行する病気や夏の過ごし方（日光浴や日焼け止めなど）の話で盛り上がりしました。第3回は、7月15日(木) 福沢市民センターで14:00から。「こどもの食育」について、話題にします。食事は、栄養ばかりでなく、こども生活にとって大きな位置を占めています。乳児期の母乳・ミルクや離乳食。その後の食事について（肥満やしつけ等）様々な方向から、考えてみたいと思います。栄養士が担当します。

6月の感染症の集計



水痘は前月は20名を越えたのですが、数自体は減っていますが相変わらず多く見られています。また溶連菌感染症も、やや多めになっています。流行というわけではありませんが、突発性発疹症が多く見られました。またこの時期夏風邪として、発疹を伴うものが見られています。典型的な手足口病ではありませんが、手足を中心とした発疹が増えているようです。また暑くなって来たせいで、「とびひ」も多くなってきました。虫刺されや湿疹の後、かさぶたが広がってきたら要注意です。早めに来院を！

夏季休暇のお知らせ

例年8月には、夏季休暇があります。まだ未定ですが、第2週の予定です。決まり次第掲示しますが、来院前には電話で御確認ください。よろしく願います。

新しい看護スタッフが入りました。従来のスタッフ同様、よろしく願います。

はじめまして。看護婦になって3年目、まだまだ未熟者ですが、明るく暖かいこの病院で、スタッフの皆さんと一緒に、頑張っていきたいと思えます。育児経験もゼロで、お母さん達から、おそわることもあるかと思えます。どうぞよろしく、願います。 小林 由佳

編集後記

このところ少し、病気の流行も落ち着いてきました。今月来月と休みが多くなり、御迷惑をおかけします。仕事と息抜き、後半戦に備えるための、リフレッシュの予定です。よろしく。

